

# 非核・いしかわ

2024年4月20日 月刊第309号

〒920-0848 金沢市京町 28-8 石川民医連労働組合気付  
非核の政府を求める石川の会  
TEL 076-251-0014 FAX 076-251-3930  
http://hikakuishikawa.com/

非核五項目

- ① 全人類共通の課題として核戦争防止、核兵器廃絶の実現を求める
- ② 国是とされる非核三原則（つくらず、もたず、もちこませず）を厳守する
- ③ 日本の核戦場化へのすべての措置を阻止する
- ④ 国家補償による被爆者援護法を制定する
- ⑤ 原水爆禁止世界大会のこれまでの合意にもとづいて国際連帯を強化する

核兵器禁止条約の署名は93か国、批准は70か国（4月15日現在）

1面 能登半島地震に学ぶ 志賀原発は廃炉に 立石雅昭	5面 介護保険が危ない！ 上野千鶴子	7面 <独標>池辺晋一郎のゲルニカ 山腰茂樹
4面 金沢市議会連合審査会の質疑より 被爆80年を迎える金沢市の行動計画	6面 <リレーエッセー> 「国際小包」送付状づくり はだしのゲン・缶バッジ YouTube 動画「ゲンの翼」紹介 神田順一	8面 戦争遺跡と平和の記念碑 絵手紙コーナー 佐藤公男 竹味恭子
4面 非核の政府を求める石川の会総会記念講演		



【特別寄稿】

能登半島地震に学ぶ

## 志賀原発は廃炉に

立石雅昭（新潟大学名誉教授）

講師の立石雅昭さん

「地震国・日本に原発は無謀！」志賀原発やめよう、と開かれた原発を考える石川女性の会学習会（3月9日）

能登半島地震、発生して三ヶ月が経った。まずはこの地震で亡くなられた方々に心からお悔やみを申し上げる。

家屋全半壊が二万三〇〇〇軒に及び、圧死や低体温症などで二四〇名を越える方々が亡くなられた。三万四〇〇〇軒で断水し、四月二日現在、なお、六七〇〇軒で断水している。陥没・土砂崩れで、道路が寸断され、二四箇所、三四〇〇人が孤立を余儀なくされるとともに、救援・支援がままならない状況が生まれた。四月二日現在でも、七四〇〇人を超す方々が、三二二箇所の避難所で厳しい避難生活を強いられている。早期の復旧を願うものです。

本稿では、この能登半島地震が中能登・志賀町に立地する志賀原発の安全性、特にその耐震安全性について学ぶべき教訓、現避難計画のずさんさを書き留める。

### 地震は原発の最大のリスク

地震は原発の最大のリスクである（アメリカ原子力学会の Mark Read）

### 花鳥風月

能登半島地震から三カ月あまりが経過した。ライフラインに

ついては初期の想定よりは順調な部分もあるが、難航箇所もまだまだ多く、完全な回復には程遠い。また、支援者本位の支援による受援者の疲弊も見て取れる。このような中、私たちに今できることはなんだろうか▼ひとつは、現地の声を聞き、必要即応の支援に注力することだ。「被災地」として過去の災害と一括りにして有効な支援を決めつけて実行するのではなく、受援者が何を求めているのかをキヤッチすることに重きを置くことで支援者本位の支援に陥らないことが大切であろう。逆に迷惑になるから何もしない、ではなく積極的に情報を集める努力が肝要となる▼もうひとつ、これは即時的なものではないが、自らがいつ支援者・受援者となることもありと想定して学び備え運動すること。個人の災害対策には限界がある。そこで大切なのは、非常時に命と人権を最優先にした対応が取れる自治体の存在である。そして本紙でも繰り返しているように、平和と社会保障は一体のものである。とどのつまり、憲法前文の平和的生存権を遵守できる政府・自治体づくりのため日々声を上げることがを諦めてはいけないと嘯みしめている今日である。（〇）

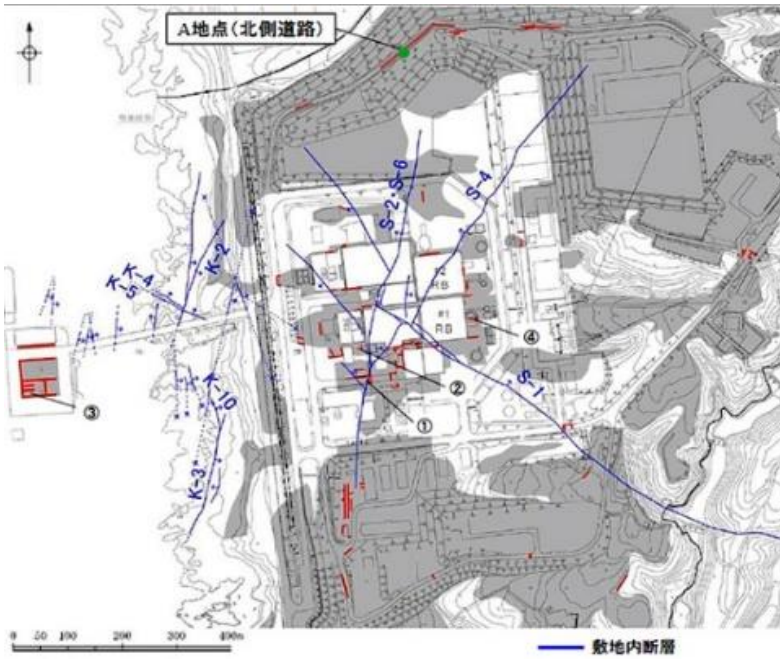
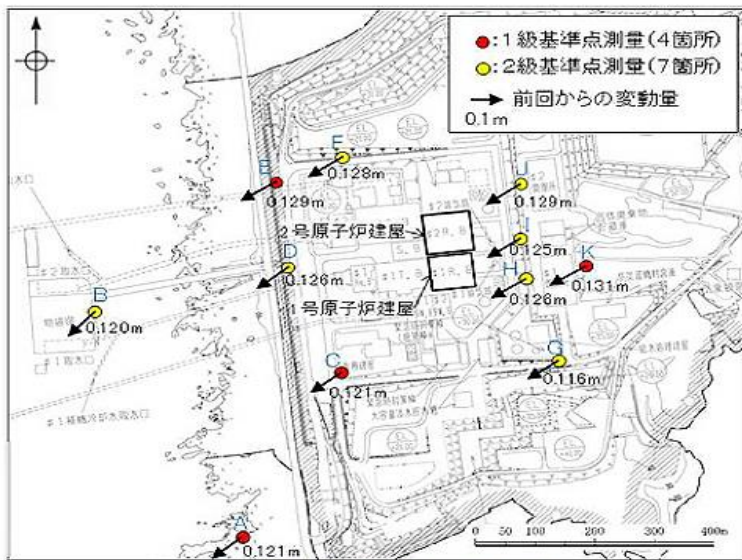


図1 志賀原発敷地内の変状(北陸電力3月25日資料)



基準点位置の変動(水平方向)

図2 志賀原発敷地の地殻変動(水平方向の移動量)(北陸電力資料)

の講演、もっかい事故調(二〇一六)岩波『科学』六月号)。兵庫県南部地震以降、日本列島は地震の活動期にあると言われる。地震と原発の安全性の再検証が求められている。特に、二〇〇六年の耐震設計審査の指針策定以前に設計・建造された原発は直ちに廃炉にするべきであり、さらには福島原発事故を受けて、二〇一三年に改訂された規制基準に適合しているとして再稼働した原発も含めて、格納容器・原子炉建屋本体は耐震補強もなされず放置されて

いる実態を見ると、日本の原発の耐震脆弱性は明らかである。  
**能登半島地震を引き起こした震源断層と地震動の推定**  
 二〇一一年の東北地方太平洋沖地震で発生した巨大な津波を受けて、それまで、大きな津波は発生しないと考えられていた日本海についても、津波波源としての断層について調査・解析が進められてきた。それらの成果は二〇一四年『日本海における大規模地震に関する調査検討会報告書』として公表

され、その報告の中で、能登半島北岸沖の断層も、佐渡側に延びて連動し、M七・六の地震が起こりうると評価されていた。日本海では北海道の沖合から南西部の九州沖合にかけて数多くの長大な活断層の存在が指摘されている。しかし、この調査・解析ではそれらの断層の活動による地震動が、沿岸地域にどのような影響するかという評価はなされていなかった。

兵庫県南部地震を受けて発足した「地震調査研究推進本部」では今後三

〇年間に震度六弱以上の揺れに見舞われる確率を「確率的地震動予測地図」として公表している。最新版は二〇二〇年版である。しかし、この最新版でも能登半島をはじめ、日本海沿岸を襲う地震動は低く評価されていた。海域の断層の活動履歴が未解明であり、次の地震が起こる時期を予測できないからである。海域での断層調査の困難さを示している。原発の耐震安全性について言うと、電力事業者や原子力規制委の審査において、陸域も含めて、断層の連動評価は不十分であり、また、それに伴う地震動の評価が不十分な状況が続いている。

### 能登半島地震に伴う隆起・地殻変動について

能登半島地震に伴い、半島の北岸一帯が隆起した。最も隆起が大きかった輪島市鹿磯では四mに達し、周辺沿岸部では新しく四段目の段丘が生じた。能登北岸でこれほどの隆起が起こるとは誰も予想していなかった。しかし、地球史的に見れば、半島北部沿岸では、およそ一二〜一三万年前の海成中段段丘が一二〇〜一〇〇mに達していた。一万年で一〇mの隆起がくりかえしてきたことが読み取れる。志賀原発をはじめ、日本の原発は冷却水を確保するために、いずれも規模は小さくても、この数一〇万年、隆起を繰り返してきた沿



岸建造されている。原発の耐震安全性の審議では、これらの立地敷地の隆起運動は考慮されていない。

ただし、地震に伴う地殻の運動は多様であり、それぞれの原発立地地域の地殻の運動像を明らかにしていくことが求められる。

北陸電力はようやく三月二五日になって、原発敷地における亀裂・段差などの変状(図1)、地盤の上下、水平方向の変動量(図2)を公表した。

変状の図1を見ると、亀裂・段差は建

屋などの建造物の周囲に集中しているが、建造物の基礎と周囲の地盤との揺れが異なるので、こうした事象は中越

沖地震の際に、東京電力柏崎刈羽原発でも発生している。明らかにしなければならぬ課題は南側の駐車場に出来た亀裂である。活断層の可能性のある

S12・S16断層の延長上に亀裂ができています。駐車場の下にトレンチを掘り、確認しなければならぬ。

敷地地盤が西南西に二一〜二三cm

移動している(図2)。国土地理院の資料でも、志賀町中心地でも西へ九cmの移動が報告されている。一方、上下変動

では、富来川南岸断層以南では原発敷地も含めて沈降したと報告されている。富来川南岸断層以南の西海岸に沿って

分布する一二〜一三万年前の堆積物が、赤住から富来領家に向かって二〇数mから五〇mへと高くなることからすると、今回の能登半島地震とは明らかに

異なる断層による地震に伴う隆起運動が必要である。いずれにしても、敷地周

辺の隆起・地殻変動を説明する運動像を明らかにしなければならない。

志賀原発二号機は現在、規制基準へ適合性審査中であるが、能登半島地震の教訓、特に、敷地周辺の地盤の変動を科学的に明らかにすることが求められる。

### 志賀原子力発電所の避難計画

原子力発電所の避難計画は、三〇km圏内について策定される。志賀原発では三〇km圏内人口は約一五万人(内閣

府二〇二〇年)。石川県作成の避難計画では、志賀原発での放射能拡散事故時には、このうち輪島市の六二七七人は

同じ輪島市内の三〇km圏外へ、志賀町の八二一人と七尾市六四一五人は能登町へ、穴水町の八一六九人は珠洲市へ、避難することとされている(図3)。

南部や南東部の市町村住民は金沢市を

はじめ、南部・南西部の圏外市町村へ避難することとされている。

そもそも、原発の避難計画では、原発から五km以遠、三〇km圏内の住民は、事故発生時、まずは自宅で待機するとされている。周辺に設置されたモニター

で放射線量を確認し、一定の量に達すれば、この指定避難所に、自家用車やバスで避難するとされる。能登半島地震

でモニターの一部が欠陥状態に陥ったことや、道路の寸断でこの避難計画は全く機能しないことは誰の目にも明らかになった。また、電源の途絶で、避難指示などの情報の収集・周知が困難となることも明らかである。

すでに稼働している原発も含めて、日本のすべての原発の避難計画を改めて検証するべきである。

過酷事故時、周辺住民の命と暮らしを守れない原発は直ちに廃炉にするべきである。

◎原発を考える石川女性の会が三月九日、石川県女性センターで開いた学習会の講演等をもとに、講師の立石雅昭氏に寄稿いただきました。

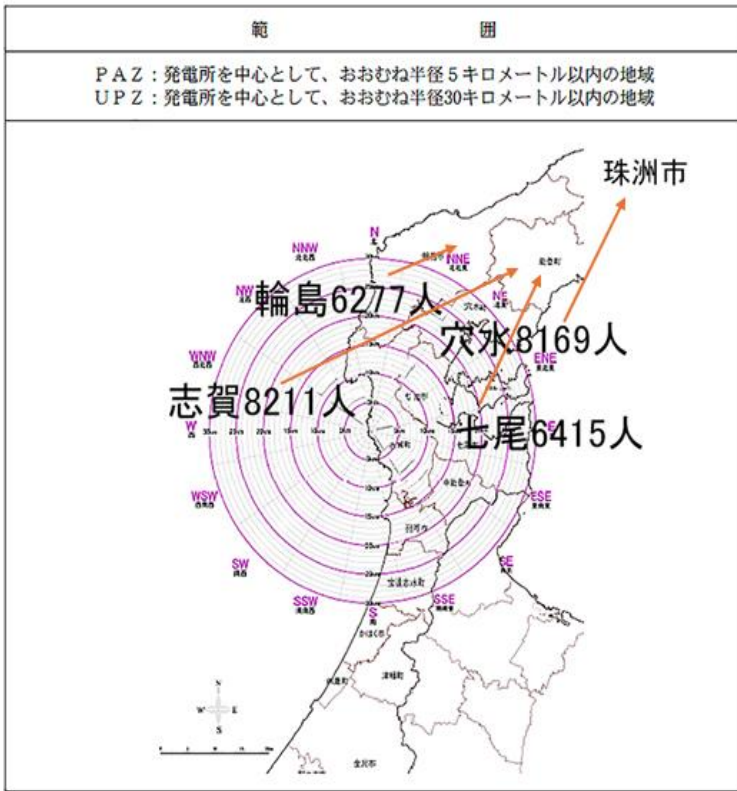


図3. 志賀原発の放射能拡散事故時における石川県の避難計画

金沢市議会連合審査会（三月一九日）

被爆八〇年を迎える金沢市の行動計画

森尾市議の質問と村山市長の答弁

◆森尾嘉昭議員

私は、日本共産党市議員団の会派として連合審査会での質問を行います。最初の質問は、金沢市都市像・未来共創計画と新年度予算についてです。この都市像に基づく一〇年間にわたる未来共創計画が打ち出され、その具現化の初年度にあたる新年度予算が提案されました。私は昨年一二月議会で金沢市都市像について質問し、その中で、三つの課題が欠落したり、不十分であることに触れました。その三つの点について具体的に伺いたいと思います。



金沢市平和都市宣言・記念碑

まず、平和擁護についてです。金沢市平和都市宣言が行われ、来年四〇周年を迎えます。広島、長崎に原爆が投下され、来年八〇周年を迎えます。この歴史的節目を迎え、市長の所信を伺います。

◆村山卓市長

世界の恒久平和は人類すべての願いであり、我々はその実現に向けて不断の努力をしていかなければならないと考えております。平和都市宣言は、本市固有の歴史・文化を発信し、世界の人々と友好関係を深める中で、恒久平和に貢献していくということを宣言したものであり、これからも機会をとらえて平和都市宣言の基本理念を呼び掛けていきたいと考えています。

◆森尾嘉昭議員

金沢市平和都市宣言では、「核兵器の全面禁止・廃絶の実現に不断の努力をしていく」と述べられています。この立場から、核兵器禁止・廃絶の実現に向け、今年から来年に向けてどのように取り組んでいかれますか。市長の決意と金沢市の行動計画について明らかにしていただきたいと思います。

◆村山卓市長

核兵器の廃絶ということであり、原爆投下から八〇年ということでもあります。金沢市ではこれまでも毎年夏に市立図書館で原爆に関するポスター展を開催してきたところであり、明年度はこれに加えて、本庁舎と戦没者慰霊式の会場においてもこのポスター展を開催する予定であります。また令和七年はそうした節目の年となります。引き続きどのような取り組みができるか、関係する方々ともお話をしながら検討していきたいと考えています。

被爆八〇年に向けて

自治体の平和施策の拡充を期待

白山市は二〇一五年、被爆七〇年を記念して平和首長会議に加盟し、長崎市から戦争と原爆の被災資料を借りて「長崎 戦争・原爆被災展」を初めて開催しました。

金沢市は来年・被爆八〇年に向けて、原爆ポスター展の会場を増やすことや新たな平和施策を検討しています。来年度「節目の年」に相応しく、県内全ての自治体における平和施策の拡充を期待しています。

（事務局長 神田順一）

非核の政府を求める石川の会第35回総会・記念講演

大震災、原発と住み続ける権利

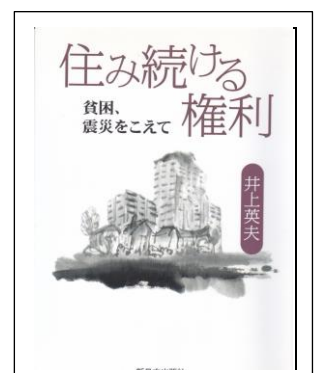
日本高齢期運動サポートセンター理事長 井上英夫氏

これまで国内外の大規模災害の現場に立ち、「住み続ける権利」を新しい人権として提唱してきた井上英夫・本会代表世話人が「震災を見る視点」につき、わかりやすく講演します。ご参加をお願いします。

日時：5月12日（日）10時～11時半 / 第1部：記念講演 第2部：総会

会場：金沢市近江町交流プラザ4階研修室 連絡先：090-2374-6821（神田）

\*講演終了後、総会をおこないます。



2012年3月25日発行  
新日本出版社 A5判 214頁

## 講演要旨

## 介護保険が危ない！

社会学者・東京大学名誉教授 上野千鶴子



講演する上野千鶴子氏

石川県女性センター・ホールで、二月二四日(土)に石川県保険医協会第五〇回定期総会記念講演が開催され、一三〇人が参加した。参加者アンケートや、講演後に開催したサイン会での行列を見ると上野千鶴子さんの人気の高さがわかり、それを裏付けるように、講演会は言語明瞭(関西弁交じり)で論旨も明快な、ぐいぐい引き込まれる質の高い内容であった。

二〇〇〇年四月に始まった介護保険は誕生の時は、「値切られた保険」とも言われた。成立後は生まれたときから「被虐待児」だった。そして今、「虐待死」の危険性が出てきている。順番に見ていこう。

値切られた保険とはどういうことか。介護保険制度は「介護の社会化」が基本理念であった。が、家族介護が前提の制度設計になった。ADLに介助が必要となる要介護3以上では、訪問介護のみでは支給限度額との関係で自宅での生活を支えられない保険になった。

成立後は「被虐待児」とはどういう意味か。二〇〇五年の第一回の改定で利用促進から抑制に舵が切られた。要介護1が支援1・2とされ(軽度者の保険外し)、法令遵守を名目に規制強化。二〇一一年に高齢者住まい法が改正され入居者に対し自社の介護サービスを過剰に提供する「囲い込み」が問題になった。

二〇一四年、要支援の訪問介護と通所介護が総合事業に、特養は要介護3以上に、個室のホテルコストと食費負担の条件設定、所得に応じ二割負担とされた。二〇一七年は所得に応じ三割負担に、二〇二〇年に高額介護サービス基準額アップ、施設の食事負担額アップなど、利用制限と負担像が継続して行われてきた。

介護報酬改定では、五回のマイナス改定が実施された。そして今次改定では、①原則一律二割負担、②要介護1・2を保険外し、③ケアプランの有料化、④福祉用具をレンタルから買い取りへ、⑤生活援助を保険から外す、⑥訪問介護系の評価・報酬を下げるなどの改悪案が出てきた。①から⑤までは運動で何とか押し返したが、⑥は今回の改定で実施された。

上野さんは、介護保険制度は様々な問題点はあるものの、①現場の経験値が蓄積し、スキルが上がりが人材が育った。②家族給付を認めず、密室や一対一ではない介護が行われ、家族の闇にサーチライトが入った(吉ヶ樋口恵子氏)。

③保険料を払っているから権利意識が高まったなど、日本の介護保険は世界に誇れるとした。

また、介護保険のない時代に戻れないとも。この介護保険制度をより充実したものにすることこそが大事なのに、介護の再家族化(介護離職、高齢者虐待、ヤングケアラーの増加)、介護の商品化(介護保険の混合利用のすすめ(私費サービス導入)、という「老後の沙汰も金次第」な政府の動きに対し、「在宅」という名の「放置」が起きる危険性が高いことに警鐘を鳴らした。

われわれは、介護保険制度の改悪をしつかり監視し、改悪を押し戻していく必要がある。無知は罪であると訴えられた。

講演後に介護報酬改定の中身が明らかになり、訪問介護の基本料が減額されたことに対して、上野さんは早速アクションをおこしている。その行動力に敬意を表するとともに、われわれも改悪の内容を患者さんや利用者知らせ一緒に行動していく思いを新たにしたい。

(まとめ 大川義弘・石川県保険医協会副会長)

### 石川県社会保障推進協議会 第29回総会 記念講演 『住民本位の復旧・復興を実現させるための課題』

京都橘大学教授、京都大学名誉教授

岡田知弘さん

日時 6月2日(日) 15:00~17:00  
会場 石川県女性センター大会議室  
参加費 無料  
問合せ 石川県社会保障推進協議会  
TEL 076-253-1636



非核石川の会リレーエッセー

余談ですが(その1)

「国際小包」送付状づくり

神田 順一

三月末にコロナ明けで三年ぶりに「国際小包」を海外(ギリシャ)に発送する機会があり、金沢中央郵便局に手書きの送り状と『はだしのゲン』(全一〇巻)を持ち込んだところ、二〇二四年三月一日から手書きの送り状は廃止になり、パソコン又はスマートフォンで「国際郵便マイページサービス」に登録して、①送り状、②依頼主控/受取書/受付局控を印刷して提出してほしい、とのこと。

このままでは「国際小包」の取扱いができなくなるため、私は「国際郵便マイページサービス」利用のため、パソコンと二日ばかりで格闘しました。

その奮闘記を報告します。

.....

パソコンによる送付状作成の手順は次の通り。

一、会員登録/ログイン

・法人を選択して仮登録し、次に本登録をおこなう。

・メールアドレスおよびパスワードを入力する。

二、メニュー選択

・送り状作成を選択する。

三、ご依頼主/お届け先登録

・依頼主及びお届け先をすべて半角英数字で入力した後、登録する。

・海外の電話番号の記載方法を調べて入力する。(入力した住所と氏名等はアドレス帳に保存される)

四、発送種別と内容物の登録

・発送種別は「国際小包」を選択する。

・発送方法は(航空便)(SAL便)(船便)の中から選択する。(SAL便)不可の国を確認する。

・内容品名(メニュー選択により、物品名を英字表記)、単価及び個数、重量、HSコード(輸出入に用いる品目番号一〇桁)を入力し、「追加ボタン」をクリックする。

・内容品の種別と内容品総額を入力する。

・危険物の有無を確認する。

五、発送関連情報登録

・発送予定日、総重量、有償/無償の選択、万一配達できなかった場合の指示。

六、確認/印刷/発送

・入力内容を確認し「送り状を登録するボタン」をクリックする。

・注意事項に同意して「印刷ボタン」をクリックする。

・送り状、税関告知書、インボイスの署名欄すべてに自筆(ローマ字)で署名する。

この手順にはそれぞれ入力「必須」の項目があり、未記載の場合は「次へ」に進めない仕組みになっており、送り状が無事印刷できたときの達成感は格別でした。

これではだしのゲンをひろめる会の主な事業(海外への『はだしのゲン』の普及を支援なくおこなえることになり、一安心です。

余談ですが(その2)

はだしのゲン・缶バッジ



先日、「はだしのゲン」連載開始五〇年記念の缶バッジを着けた帽子をかぶって、市内のクリニックを定期通院したところ、缶バッジを見た看護師さんから「私は中学のとき広島にいた。教室内に『はだしのゲン』があり、よく読んでいた。神田さんも広島出身ですか」と話しかけられました。

「いいえ、ゲンをひろめる活動をしています」と答えると、さらに彼女は「私は佐々木禎子と同じ織町小学校で平和教育をしっかりと受けてきました。平和教育は大事ですね」と話されました。

思わぬところで缶バッジを介して話が弾んだため、はだしのゲンをひろめる会の役職名を記した名刺を置いてきました。次回からの通院が楽しみです。これからもこのような出合いを期待して、缶バッジつきの帽子をがぶって外出することにします。

(NPO法人はだしのゲンをひろめる会事務局長)

YouTube 動画

「ゲンの翼」-はだしのゲン 翻訳者たちの物語

翻訳・出版ボランティアグループ「プロジェクト・ゲン」のみなさんをはじめ多くの方々のご尽力により、「はだしのゲン」は25言語に翻訳されています。その一つ一つに波乱万丈な翻訳エピソードが秘められています。中国語(繁体字)版翻訳者の坂東弘美さんは、翻訳者の方々に取材して「ゲンの翼」としてYouTubeチャンネルにアップしています。プロジェクト・ゲンHP及びはだしのゲンをひろめる会HPに順次公開しています。

詩人会議かなざわ「独標」より

### 池辺晋一郎のゲルニカ

山腰茂樹

二〇二三年九月一六日O.E.K定期公演、石川県立音楽堂コンサートホールで池辺晋一郎の作品を二曲聴いた。ピアノ協奏曲第一番は、氏の東京芸大卒業作品（一九六七）、シンフォニーXI「影を深くする忘却」はO.E.Kのための新作。初演であった。

この日の演奏は、全て感動的な演奏だった。モーツアルト「クラリネット協奏曲」のクラリネット独奏者リチャード・ストルツマンの音楽の世界に体が痺れた。まるで一期一会というか自在性というか、いぶし銀の深い味わいがあった。これこそ生でなければ聴けない音楽そのものだと感じ入った。高齢のため、もう聴ける機会はないだろうと思うと寂しい。

さて、本論の池辺作品であるが、ピアノ協奏曲は瑞々しい若さがほとぼしり、一二音技法もあり、時代の先端を疾走する力が漲っている。気力が溢れる澁刺とした作品で、最後まで音楽に引張られてしまった。私が最も期待していたシンフォニーXIは、どのように表現したらよいか分からないほど大きな

感動と衝撃を受けた。この作品は間違いない名曲である。聴いたあと瞬間に「池辺のゲルニカ」だ、と口に出た。

もともとピカソのゲルニカ（一九三七）は、ファシスト・フランコと手をつないだヒトラードイツ軍がスペインのゲルニカを攻撃した悲惨な状態を壁面に描いた作品であるが、そうしたピカソの絵に通底し、現代という時代の本質を抉り出した音楽のようだ。私はこの作品の中に、ベートーヴェンの運命の動機を聴いたし、前進する高い志、恐ろしい戦争が近づくと足音、ヒューマニズムに包まれた希望を強く感じた。最後のピアノ独奏に深遠な作曲者の寂寥が心を聴いた。音楽がこのピアノの音楽に収斂し、その寂寥の心は、ピカソのゲルニカにある一輪の花かも知れない。そう考えると、未来への希望を込めたのかと感ずる。

この作品を、私のように聴いた人はきつといるだろう。池辺が「うたごえ運動」にも心を寄せ、ひたすら平和を希求するヒューマニストとしての人生が、こうした名作を生んだと信じている。近々この日の池辺の二作品がCD化（東京公演の収録）されると聞く。楽しみだ。

考えてみると、この金沢にも優れた作曲家がいて、多くの作品を残した先

人がいることを思う。戦後のうたごえ運動や労音活動をとおして、親しみ深い作品を生み出した清藤武二である。一九二四年に生まれ二〇一三年に亡くなったが、常に正しい時代の精神をつかみ取り、美しい作品を世に出した。シベリア抑留から帰国し、生涯をとおして平和を求め続けた作品の数々を次回で紹介しながら書いてみたい。

### 編集室より

◎「大東亜戦争」という呼称は、戦後GHQによって使用を禁止され、日本政府も「公文書に使用しない」とするものだがつい先日、陸幕で肯定的に使われていたことが発覚した。今日の日本は、集団的自衛権の行使を容認して違憲の安保法制を押しつけ、今や武器輸出を解禁して戦闘機を輸出する国家となった。憲法が足蹴にされ、政治資金規正法も機能せず、誰も責任を取らず、変質・劣化は明白だ。

この根源にあるものは何か。それは金銭的な利潤追求への際限のない欲求と無関係ではなからう。

しかし少なくとも「日本を戦争で儲ける国家にしてはならない」。その最後の護り手は日本国民自身。その投票行動に全てが委ねられている。(中)

### 非核・平和の掲示板

月	日	曜	時	内容	場所
4	27	土	14:00	教科書を変える！市民集会／講師 鈴木敏夫さん	加賀市山代温泉・加賀市民会館101会議室
	28	日	14:00	戦争をさせない石川の会・劇団なんじゃもんじゃ／ひとり芝居「悔悟の記録—ある憲兵のもの語る」	金沢市大和町・金沢市民芸術村ドラマ工房
5	3	金・休	14:00	平和憲法施行76周年記念県民集会／飯島滋明さん	金沢市三社町・石川県女性センター・ホール
	12	日	10:00	非核の政府を求める石川の会第35回総会／記念講演 井上英夫さん	金沢市青草町・近江町いちば館4階研修室1
	26	日	10:00	“人間と性、教育研究協議会・石川セミナー／講師 浅井春夫さん	金沢市三社町・石川県女性センター・ホール
6	15	土	11:30	原水爆禁国民平和大行進／富山からの引継ぎ式	石川県河北郡津幡町・九折
	15	土	14:00	むぎわらまつり／紙芝居「たみちゃんのノーモアヒロシマ」、ミニ平和講座、平和コンサート(川崎正美)	金沢市小立野2丁目・石川県立図書館だんだん広場
	22	土	11:30	原水爆禁国民平和大行進／福井への引継ぎ式	福井県あわら市・吉崎御坊跡

\* 会報「非核・いしかわ」サポート会員を募集中です。年会費 2,000円

戦争遺跡と平和の記念碑 ⑬

内灘闘争

佐藤公男

「金は一年 土地は万年」

内灘闘争は一九五二年から翌年にかけての戦後初の米軍基地反対闘争。「金は一年 土地は万年」をスローガンに掲げ一―三日の座り込み、延べ三万人におよぶ民衆の闘いは、戦後日本の米軍基地反対闘争のさきがけとなり、砂川闘争(立川飛行場の拡張反対闘争)など全国に広がった。



内灘町歴史民俗資料館にて



着弾地観測所跡



芦田高子歌碑



「金は一年 土地は万年」のムシロ旗 (風と砂の館にて)

「芦田高子歌碑」

芦田高子(一九〇七―一九七九)は一九〇七年岡山県生れ、四三年に鳥屋町に移り金沢市小立野に移住。四七年歌誌「新歌人」創刊、五四年内灘闘争を詠んだ歌集「内灘」を刊行。「日本の体内へつたへ独立と平和の高き鼓動内灘」他二首が刻まれている。着弾地観測所跡地(内灘町宮坂)に二〇二二年一月二月建立されている。



直江博の碑



軍事物資輸送道路「鉄板道路」の標識が残っている

内灘闘争「直江博の碑」

直江博(一九二三―一九五三)は、七尾市に生れ国鉄労組七尾機関区分会副委員長として活動、日本共産党能登地区委員長を歴任。一九五三年春からの米軍基地反対闘争に持病をおして参加、同年一月二〇日病死。享年三二歳。遺骨は鉄条網横の塚に安置されたが、その後、現在の町営墓地に移された。一九五八年八月内灘革新協議会及び他同志が建立した。(河北郡内灘町権現森霊園内地蔵堂付近)

絵手紙コーナー

金沢医療生活協同組合

絵手紙班

竹味恭子

